

皆様からのお問い合わせへの回答

先だって発表致しました「難治癌の新規治療法の開発：Nek2 を標的にして」について、全国の方々から数多くのお問い合わせを頂いております。本来でしたら、お一人お一人にご説明申し上げるべきところではありますが、少しでも早くお答えすべきと考え、このような形で公表させていただくこととしました。

最もお問い合わせの多かった臨床応用についてですが、私達の研究ではNek2(NIMA related kinase 2)を標的とするsiRNA(small interfering RNA)により動物実験での腫瘍の増殖抑制、腹膜播種の生存期間の延長に成功しています。しかしヒトへの臨床応用に関してはさらに安全性試験、毒性試験が必要となります。このような先進的な研究の臨床応用においては安全性、副作用の検討が不可欠であり、これらの検討が不十分なまま臨床応用が行われた場合、様々な問題の起きる可能性があります。

早期の臨床応用を目指して研究を継続していますが、これらの検討にはかなりの時間のかかることが予想され、現時点での臨床応用の開始時期は未定となっています。

多くの方の難治癌治療へのご期待にお応えできず申し訳ありませんが、かかる現状をどうぞご理解くださいますよう宜しくお願い致します。

名古屋大学医学系研究科 腫瘍生物学 教授 濱口道成
腫瘍外科学 研究員 國料俊男